

# 陳 情 文 書 表

(選挙管理委員会事務局)

|         |   |           |                  |
|---------|---|-----------|------------------|
| 受 理 番 号 | 4 9 6   | 受 理 年 月 日 | 令 和 5 年 5 月 30 日 |
| 件 名     | 若い世代の投票率向上に向けた議論の実施   |           |                  |
| 要 旨     | <p>2019年1月に若い世代に選挙に関心を持ってもらう会を立ち上げて活動している。基本的には、若い世代の投票率を上げることを目標にして5年目になるが、なかなか投票率が上がらないのが現状である。</p> <p>国民主権と憲法にも明記されているにもかかわらず、関心がないのが現実である。選挙に行かない理由は色々あると思うが、国民・市民の声が政治に届かないということは、民主国家という面でも良い方向ではないと思う。</p> <p>今、ウクライナ侵攻による消費者物価の上昇、所得格差、エネルギー問題、人口減少問題などが山積している。そのためには、様々な世代からの意見を採り入れることが大切だと思う。そのためにも国民が選挙に参加することが一番の特効薬だと思っている。このことも踏まえて、公的機関などの啓発活動は欠かせず、一長一短では上がらない中で京都市会から選挙の啓発活動を積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>今、政治に関する事件も多発している。なぜか。それは国民・市民に不満がたまっているということではないか。供託金制度や被選挙権制度など法律（公職選挙法）を変える必要も出てくるだろう。だからこそ前向きに議論をして国の方にも働き掛けをしてほしい。</p> <p>投票率が上がることが、政治家を育てることにも、危機感を持ってもらうことにもなり、ひいては国民・市民のためにもなる。</p> <p>ついては、投票率の向上について議会の中で議論していただくことを願う。</p> |           |                  |
| 陳 情 者   |   |           |                  |
| 回付委員会   | 総務消防委員会   |           |                  |